



**ホツカンホールディングス株式会社  
2017年度決算説明会資料**

**2018年6月5日**

# ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス  
(持株会社)

持分法適用会社

ユニバーサル製缶  
(飲料缶事業)

北海製罐  
(容器事業)

日本キャンパック  
(充填事業)

オーエスマシナリー  
(機械製作事業)

昭和製器  
(飲料缶・食缶)

日東製器  
(食缶・エアゾール)

東都成型  
(化成品容器)

ワークサービス  
(請負事業)

ホッカン・インドネシア  
(容器製造・充填事業)

コスメサイエンス  
(化粧品製造・販売)

西日本キャンパック  
(充填事業)

日本キャンパック  
マレーシア  
(充填事業)

日本キャンパック  
ベトナム  
(充填事業)

くじらい乳業  
(ヨーグルト受託製造)

KE・OSマシナリー  
(機械製作事業)



ホッカンホールディングス本社

	2017年度	2016年度	前期比
売上高	119,274	122,075	-2.3%
営業利益	5,135	7,507	-31.6%
経常利益	6,303	8,732	-27.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,261	4,987	-14.5%

単位:百万円

- 売上高 : 容器事業における販売減が影響し減収
- 営業利益 : 販売減少、エネルギーコスト、原材料価格上昇の影響により減益
- 経常利益 : 営業利益減少および持分法投資利益等減少が影響し減益
- 当期純利益 : 特別損失は前期比で減少するも経常利益減少の影響を受け減益

# 2017年度セグメント別売上高

	2017年度	2016年度	前期比
容器事業	45,576	48,130	-5.3%
充填事業	69,841	70,703	-1.2%
機械製作事業	5,375	4,808	11.8%
その他事業	7,439	7,053	5.5%
調整(グループ内取引含む)	-8,959	-8,620	
合計	119,274	122,075	-2.3%

単位：百万円

- 容器事業：飲料缶、食缶、飲料用ボトル、プリフォーム分野にて販売減少
- 充填事業：主力である小型PETは販売増加、大型PETは減少し全体として前年並み
- 機械製作事業：加工工作、エンジニアリング共に販売増加
- その他事業：海外事業売上は落ち込むも、化粧品事業の販売増加が寄与し増収

# 2017年度セグメント別営業利益

	2017年度	2016年度	前期比
容器事業	998	2,794	-64.3%
充填事業	5,198	5,679	-8.5%
機械製作事業	246	174	41.4%
その他事業	-124	-110	-12.1%
調整(グループ内取引含む)	-1,183	-1,030	
合計	5,135	7,507	-31.6%

単位：百万円

- 容器事業：販売減少、エネルギーコスト、原材料価格上昇の影響を受け減益
- 充填事業：売上高は前年並みもエネルギーコスト上昇の影響を受け減益
- 機械製作事業：堅調な販売により増益
- その他事業：化粧品事業は好調も海外事業の不振により減益

## 容器事業の新展開 北海製罐 密封ecoボトル



- 食品市場において密封性容器需要が高まっている現状
- 北海製罐にて内容物(しょうゆ等)の鮮度保持を目的とした新PETボトルを開発
- 特徴としてPETの2重容器、かつリサイクルが可能
- 2018年1月より商業生産開始

## 西日本キャンパック 新無菌充填ライン導入



建屋建設は順調に進行中

- 無菌充填PETライン1ラインを増設
- 既存のホットパック1ラインを廃止
- 2018年11月 商業生産開始(予定)
- 生産能力：約1,000万ケース/年
- 投資金額：約65億円
- 小型/大型PETボトル兼用ラインの為  
多様なニーズに対応可能

	2018年度	2017年度	前期比
売上高	124,000	119,274	4.0%
営業利益	5,500	5,135	7.1%
経常利益	6,400	6,303	1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,800	4,261	-10.8%

単位:百万円

- 売上高：容器事業、充填事業共に販売の回復を見込み増収を想定
- 営業利益：容器事業における利益回復を見込み増益を想定
- 経常利益：営業外損益において若干の減益を見込み前期比で微増を想定
- 当期純利益：特別損失の増加を見込み減益を想定



# 2018年度 セグメント別売上高

	2018年度	2017年度	前期比
容器事業	48,000	45,576	5.3%
充填事業	71,000	69,841	1.7%
機械製作事業	6,000	5,375	11.6%
その他事業	8,500	7,439	14.3%
調整(グループ内取引含む)	-9,500	-8,959	
合計	124,000	119,274	4.0%

単位：百万円

- 容器事業：メタル缶、プリフォーム等の販売増加を想定
- 充填事業：小型PETおよび缶製品の受注増による増収を想定
- 機械製作事業：グループ内向けエンジニアリング事業の売上増加を想定
- その他事業：インドネシア充填事業での大幅な売上増加を想定

# 2018年度 セグメント別営業利益

	2018年度	2017年度	前期比
容器事業	1,400	998	40.2%
充填事業	4,700	5,198	-9.6%
機械製作事業	250	246	1.5%
その他事業	250	-124	
調整(グループ内取引含む)	-1,100	-1,183	
合計	5,500	5,135	7.1%

単位：百万円

- 容器事業：北海製罐での販売回復、および東都成型での販売増が寄与し増益の見込み
- 充填事業：主に償却費増加の影響等により減益
- 機械製作事業：増収を見込むも、販売構成の変化により利益は前期と同水準の見込み
- その他事業：インドネシア充填事業の黒字回復により増益の見込み

	2014	2015	2016	2017	2018予想
設備投資	15,575	7,727	6,242	12,459	13,312
減価償却費	8,120	6,030	6,336	6,504	7,009

単位:百万円

## 2017年度 実績

- 容器事業：プラスチック製品製造設備等 53億円
- 充填事業：ペットボトル充填関連設備 70億円

## 2018年度 予想

- 容器事業：プラスチック製品製造設備等 48億円
- 充填事業：ペットボトル充填関連設備等 72億円
- 海外事業：インドネシア、ベトナム充填関連設備 3億円
- その他：福利厚生施設等 10億円

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 予想
一株当り配当	7.5円	7.5円	7.5円	8.5円	8.5円
配当性向	—	14.9%	9.5%	12.2%	13.6%

## 配当に関する基本方針

剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当を行うことを基本方針としております。

2017年度の期末配当金につきましては、株主の皆様への還元を充実させる為、従来よりも1円増配となる、1株当たりき4円75銭を決定致しました。すでに実施済みの中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり8円50銭となります。

また、当社株式につきましては、2018年10月に普通株式5株を1株へ併合することを予定しておりますが、当株式併合の影響を考慮しない場合の2018年度1株あたり年間配当金は、8円50銭を予想しております。

当資料は、投資家の皆様にホッカンホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は作成時点において、当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

Tel：03-3213-5111